

未来 寄合

出合い・ふれあい・語り合い
～みらいよりあい

北小校区 トライアル ②

未来寄合トライアル【北小校区】第2回 開催！

1月30日（木）の夜、くすのきの家 ふれあい交流ホールにて「未来寄合トライアル（北小校区）」2回目を開催。参加者は、市民のみなさんと事務局スタッフを含め27名でした。

この日のネライは、続けていける地域の仕組み・組織のあり方について、関心のあるテーマテーブルに分かれて深掘り。まずは前回はふりかえった後、前回の話し合いをもとに整理した4つのテーマのグループに分かれました。そして、話し合いのヒントとなる他市町や市内の事例を共有したあと、各自で「課題解決のためのアイデア」やそれによって「得たい成果」、「パートナー候補」をシートに記入したあと、グループ内でアイデアを共有しながら意見交換。グループごとに、マインドマップに整理したシートを作成して最後に全体で発表・共有しました。

どうしたらいい？～続けていける地域の仕組み、組織のあり方って？

1.ふりかえり～班分け（テーマ選択）

①土台（ベース）

←ご近所の顔が見える関係、つながり・交流、思いやる心、郷土愛

A：参加促進

B：仕事の見直し

C：デジタル化

D：外部との連携

4つのテーマ

②組織・仕組み

③活動・取り組み

←交通安全、防犯、防災、空き家、買物・移動支援、支え合い、障がい者・高齢者のサポート、子育て…など



地域における「互助・共助」（支え合い・助け合い）は3層構造。今日の「未来寄合トライアル」では、②の「組織・仕組み」について考えよう！



ファシリテーター
TAKEZO

2.プチレク「話し合いのヒント」

他市町の事例紹介

事例①：小牧市で進めている、小学校区単位の組織「地域協議会」を紹介



再編したからといってうまくとは限らないのですが…どんなやり方がいいのか考える参考に！

小牧市大城小学校区内では、8つの区や小学校、民生・児童委員、PTA、福祉関係者、公募委員、パトロール隊などが一体となって活動。

役員会の下にある3つの部会（防災・防犯、福祉、交流）が事業を実施しています。

地域協議会のメリットは、①区ごとにやるよりも効率がいい②専門性が高まる③行政からの人的財政支援。

事例②：京都市の町内会の新しい地域活動スタイルの紹介
引継ぎの工夫、話し合いの工夫、多様な参加の工夫、デジタル化の工夫、連携の工夫など…。

市内の事例紹介

事例③：市内のある町内会の組織概要や役員の会議・イベント準備の一覧を紹介

事例④：市内で導入をすすめている町内会電子回覧板アプリ「結ネット」の紹介

現在、中本町区、西市町区、鈴井町区、中央町区、南新町区の5区が導入しています。

紙の回覧板を添付して電子回覧板として活用したり、イベントの写真を添付して活動を紹介したりして活用されています。

導入した町内会役員からメリットとして挙げられたのは、迅速に情報伝達ができること。課題は、初期設定や操作方法の習得が必要なこと、地域住民への普及、という声が多くありました。



協働安全課 植手さん

3.グループワーク「テーマ別に深掘りしよう！どうしたらいい？地域解決～続けていける地域の仕組み、組織のあり方って？」

地域の組織・仕組みのあり方に関わる 4 テーマから関心のあるテーマテーブルに分かれ、各自で「課題解決のためのアイデア」やその「ねらい・得たい成果」、「パートナー候補」をシートに記入し、グループ内で共有しながら意見交換。マインドマップの方法で話し合いを構造化してシートにまとめ、最後に全体で発表・共有しました。



A 参加促進

～町内会や区に加入・協力してもらうためには？

- ・区や町内会が何をしているかを発信。かわらばんなどいろんなツールを考えたい。
- ・参加するメリットを考え発信したい。また、参加しないデメリットも感じさせる。
- ・安心して参加・加入できることを知らせたい。
- ・マンションは独立しているので、集まれる場、支え合える関係づくりを考えたい。



B 仕事の見直し

～町内会や区の役員の負担を減らすには？

- ・仕事の見える化。マニュアル化し、誰でもできるようにしたい。
- ・「誰のため」「何のための仕事か」理解し、町内会の意義を確認した上で仕分けをする。
- ・隣の区と同じ行事をする。一緒にやる。
- ・役員の数を増やす。子どもや女性を含め、世代ごとに分業。みんなでやることで新しい考え方が出るのでは。



C デジタル化

～ネットやスマホなど IT 技術を活かすには？

- ・情報＋役割が大事。
- ・簡単な登録や、双方向確認が課題。
- ・簡潔で簡単な言葉、イラストも使いわかりやすく伝えたい。市のサポートがあるといい。
- ・「役」は敬遠されるので「手伝ってくれる人」を募集。参加者にはデジタル通貨のようなメリットがあるといい。
- ・町内会の公式 LINEで若者に PR したい。



D 外部との連携

～NPO や事業者など外のをうまく借りるには？

- ・外部の連携を広げ、横のつながりを増やせば地域の課題解決の道に進む。団体同士の接点を提供したい。
- ・協力する側、される側のメリットを PRしたい。
- ・企業からの助成金を一元管理し地域に分配するリーダーシップを持った組織が必要。
- ・プロボノ掘り起こし。



ひとことアンケートより

他の地区の方々の課題等を聞きながら、自分の地区の問題点に改めて気づけ、とてもよかった／テーマ別に分散して議論したため、内容が充実したと感じた／発信がキーワードになってきますね。どういう発信が多くの人に届くか考えてみたい／みんな考えていることはやっぱり同じで、多方面から地域問題を解決できればと思います／もう少しグループで話をしたかった。他のグループの意見をもう少し詳しく聞きたかった ほか多数

岩倉市役所 協働安全課 (須藤・植手)

TEL (0587) 38-5803

FAX (0587) 66-6380

✉ kyoudouanzen@city.iwakura.lg.jp

※本事業の財源として、愛知県の「元気な愛知の市町村づくり補助金（人口問題対策枠）」を活用しています。